



大山ターニム畑に眠る文化財①

本市大山区を通る国道58号沿いの西側(海側)には、大山ターニム畑と呼ばれる約30ha(サッカーコート約42面分)もある広大な緑地が広がっています。沖縄戦以前は稲作(水田)が行われていましたが、昭和40年頃からターニム栽培へと移り変わり、現在では本市の特産品として知られています。

豊富な湧水

水田に欠かせない資源といえば、「水」です。現在の農業においても水は重要な要素ですが、水道設備が整備される以前は、今以上に「水の確保」が重要だったと考えられます。大山区では今日に至るまで、国道沿いの崖下から湧き出すいくつもの湧水が、悠久の時を経ても枯れることなく大地を潤し続けています。そこから得られる水は農業用水だけでなく、祭祀の時には若水や産水を汲み取って利用されており、人々にとって欠かすことのできない大切な場所でもありました。

生命の水を那覇へ

沖縄戦以前、上水道が整備される前までの那覇市では、飲料水を確保することが重要課題でした。那覇市は昭和2年からこの問題に取り組み、宜野湾村大山を含む湧水が豊富な4地域に対して用地買収を試みましたが、大

山の地主は「田畑灌漑用の水を那覇市に与える事は生命を奪われるものである。」と強く抗議しました。水源地問題は難航しましたが、昭和8年によつやく落着し、同年9月には給水が始まりました。その痕跡は現在のアラナキガーでも見る事ができます。

新たな街づくり

目まぐるしく変化する現代社会において、近代化の波は大山ターニム畑にも押し寄せています。近い将来この地にも新たな街が作られますが、地元の歴史文化・風土を織り交ぜることで、大山独自の魅力が宿る街へと発展していくのではないのでしょうか。文化課では今年度から大山ターニム畑で発掘調査を実施する予定です。地域のことを深く学べる良い機会になると思いますので、耳よりの情報がありましたら、是非文化課へご連絡ください。お待ちしております！



▲現在のアラナキガー
(黄枠内が那覇市へ送水した頃の名残と思われる)

問 文化課

☎893・4430

令和7年度
教育長賞 授賞作品



中学校の部



小学校
高学年の部



小学校
中学年の部

はくぶつかん情報



小・中学校連携展

第34回ぎのわんの文化財

図画作品展

市内小中学校の児童・生徒さんからご応募いただいた全作品を、一堂に展示します！

期 間 10月3日(土)～10月25日(日)
場 所 市立博物館 企画展示室
入 場 無料

博物館展示ロビー展 民俗芸能写真パネル展

大謝名・普天間の獅子舞、我如古のスンサーミーなど、宜野湾市の民俗芸能について紹介します！

期 間 10月15日(木)～12月20日(日)
場 所 市立博物館 展示ロビー
入 場 無料

市民講座受講生募集！ 沖縄の指定文化財

10月に開催する市指定文化財50周年企画展に関連して、県内の文化財を紹介します！

講 師 新垣力 (県教育庁文化財課記念物班 班長)
日 時 10月18日(日) 14時～16時(受付13時半～)
場 所 市立博物館2階 研究室
参 加 費 無料
定 員 40人
申込期間 9月27日(日)9時～

※定員に達し次第、締め切り

※講座のタイトル等は変更となる場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

問 市立博物館 ☎870・9317

※休館日：火曜日・祝日

※開 館：9時～17時(最終入館は16時半まで)